JADCA NEWS

一・社　日本空調システムクリーニング協会

発刊日
2025 年 10 月 1 日

第 119 号

JADCA 事務局から会員企業・関連団体の皆様に JADCA NEWS を配信いたします。

1. JADCA 建築物環境衛生セミナー

令和 7 年 10 月 1 日発令火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準について

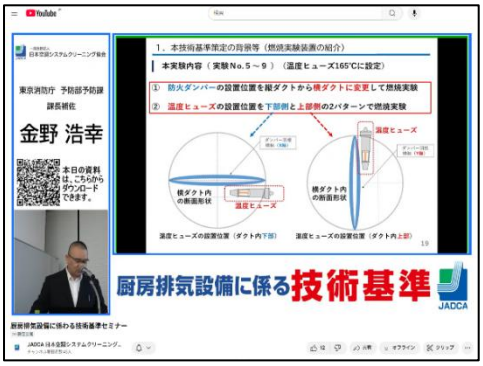
8 月 27 日（水）浅草橋ヒューリックホール&カンファレンスに於いて弊協会主催建築物環境衛生セミナーが開催されました。

このセミナーでは令和 7 年 10 月 1 日より運用される東京消防庁の通知「火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準とその具体的な対応」について解説されました。

第一部【火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準について】東京消防庁火気電気係課長補佐金野浩幸様よりご説明頂き、第二部では【厨房排気設備の設置と点検の実例について】シンポ株式会社小嶋寿夫様よりご説明いただきました。第三部では【厨房排気設備の維持管理について】東亜管財株式会社花木俊介様よりご説明を頂きました。

この基準の詳細については東京消防庁のホームページからも確認することができます。

また、今回も会場での受講と YouTube のライブ配信を行い多くの JADCA 会員企業、各消防署関係者、関連企業の方々にご視聴頂きました。



JADCA YouTube チャンネルからご視聴可能です。

チャンネル登録・高評価👍お願い致します！！

2. JADCA 活動のご報告 7 月～9 月

日付	内容	開催形式／会場
7 月 8 日(火)	理事会	新橋　外部会議室
7 月 11 日(金)	厨房排気設備診断士更新研修	オンライン研修 (ZOOM)
8 月 19 日(火)	ビジネスモデル委員会	オンラン会議 (ZOOM)
8 月 25 日(月)	微生物汚染対策検討委員会	JADCA 新橋事務所
8 月 27 日(水)	JADCA 建築物環境衛生セミナー 火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準	浅草橋ヒューリックホール& カンファレンス YouTube ライブ配信
9 月 16 日(火)	厨房委員会	浅草文化観光センター
9 月 18 日(木) 9 月 19 日(金)	空調システム診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)

3. JADCA 研修・活動予定　10 月～12 月

日付	内容	開催形式／会場
10 月 9 日(木)	空気調和用ダクト清掃従事者研修 2 年目以降研修	オンライン研修 (ZOOM)
10 月 15 日(水)	ビジネスモデル委員会主催勉強会 「エアフィルタの基礎知識」	会場受講・(ZOOM)
10 月 16 日(木)	理事会	新橋　外部会議室 BIZ ステーション新橋
10 月 20 日(月)	東西関東支部懇親ボウリング大会	東京ドームボウリング センター
11 月 5 日(水)	東西関東支部懇親ゴルフコンペ	ゴールド佐野 CC
11 月 6 日(木) 11 月 7 日(金)	厨房排気設備診断士養成研修	オンライン研修 (ZOOM)
11 月 26 日(水)	近畿中四国・九州支部合同支部会 株式会社プロメンテ様ご訪問	株式会社プロメンテ 広島
12 月 5 日(金)	微生物汚染対策検討委員会	外部会議室
12 月 10 日(水)	評価認定員会	JADCA 新橋会議室
12 月 11 日(木)	環境経営委員会	JADCA 新橋会議室

4.　新会員のご紹介

東関東支部

株式会社セフテック
〒320-0051　栃木県宇都宮市上戸祭町 2936-181
TEL：0280-48-4417　FAX：0280-48-5566
代表取締役　入江　史典
担当者　入江　史典
URL：http://saftec-koga.co.jp/
E-mail：irie.f@saftec-koga.co.jp

ウォッシュマンズ

〒373-0806
群馬県太田市龍舞町 5356
TEL：0276-67-6133　FAX：0276-67-6133
代　表　田村 純一
担当者　田村 純一
E-mail：wash_mens@yahoo.co.jp

近畿中四国支部

個人会員
氏名：山口英治
〒 569-1031
大阪府高槻市松が丘 4-32-1
TEL：090-1653-8652
E-mail：aptosaka.yama@gmail.com

ビジネスモデル委員会主催告知　会員向け勉強会

エアフィルタの基礎知識
株式会社アクシー

10 月 15 日(水)　15：30～

ビジネスモデル委員会主催の説明勉強会として、フィルタメーカーの株式会社アクシー様をお招きし、「エアフィルタの基礎知識」と題し説明勉強会を行うこととなりました。今回は、フィルタの 3 大要素から始まり、最新のフィルタ情報やこれからのフィルタの役割など、多岐にわたるお話をわかり易くして頂く予定となっております。
また、ビジネスの面に関しても、フィルタ制作、オーダー、販売に関しての話もして頂く予定となっております。
WEB 受講もリアル受講も会員企業であれば自由にご参加できますので、お申し込み、お問い合わせは JADCA 事務局までご連絡をお願い致します。

会員企業 200 社　診断士 1000 名　達成プラン

JADCA 会員企業限定！2025 年度プラン

会員増強プラン・・・会員企業 紹介制度

・１社紹介した会員企業には協力金として **10,000 円の商品券**を提供します。
※入会時に紹介会員企業へ商品券の提供

診断士増強プラン・・・会員企業 特別受講制度

・正会員企業の方は年間で各養成研修厨房診断士１名、空調診断士１名の受講料を**無料**にします。

診断士研修日程

厨房排気設備診断士養成研修
2025 年　11 月 6 日（木）～7 日（金）　　2026 年 3 月 5 日（木）～6 日（金）
空調システム診断士研修
2026 年 2 月 19 日（木）～20 日（金）

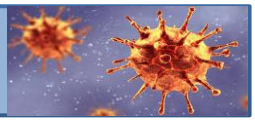
JADCA 臨時社員総会の予告

2026 年 2 月 5 日(木)

アートホテル日暮里ラングウッド

14：30～16：30　臨時社員総会
17：00～18：30　賀詞交歓会

抗菌・抗ウイルスについて



JADCA 会員の皆様、昨年より JADCA の微生物汚染対策委員会メンバーに参画しております菊野と申します。北里環境科学センターで、環境微生物調査や殺菌・抗菌試験、空気清浄機の浮遊ウイルス除去性能評価など、微生物関連業務に長年従事後、現在は参与として、また本年 6 月からは学会の会長となり、健康で快適な環境づくりを目標として活動しています。どうぞ宜しくお願いいたします。

「抗菌」や「除菌」は、社会に浸透し、今ではだれもが知っている言葉です。私は長年にわたり抗菌製品や除菌製品の評価試験を実施し、また規格作成にも関わりましたが、これらの言葉の意味を正しく伝える機会がないことを残念に思っていましたので、抗菌・抗ウイルスについて、少しだけ紹介させていただくことにしました。

殺菌、消毒の用語は、薬機法によって、医薬品と医薬部外品以外で使用することができません。そこで、薬機法の対象とならない細菌やウイルスに効果がある雑品にたいして、抗菌や抗ウイルスの表現が用いています。抗菌加工製品の販売は、1970 年代に始まり、各社が独自の評価試験によって抗菌性を示していましたが、1990 年代前半までの社会的な認知度は低いものでした。1996 年に発生した腸管出血性大腸菌 O157 による集団食中毒を契機に多くの抗菌製品が市場に溢れ、消費者の混乱を招いたことを契機として、安全面も含めたルールが求められ、1999 年に通産省によって「抗菌製品ガイドライン」が策定されました。これをもとに、関係業界団体において評価方法もが標準化されました。今では、多くの JIS 規格として抗菌・抗ウイルス性能の試験方法と評価基準が制定されています。それぞれの評価基準を満たせば、業界団体の認証マークを製品に表示が可能です。

抗菌製品の試験方法の例として JIS Z 2801 の試験概要を示します。試験菌には大腸菌と黄色ブドウ球菌を用います。対照（試験菌数を減らさない）試験片と抗菌製品から作製した試験片を用意し、その表面に試験菌液を滴下、所定条件で作用後の菌数を比較します。対照に比べて抗菌製品の菌数が 1/100 以下であることを抗菌性ありと評価する規格になっています。

抗菌・抗ウイルス性能に認証マークを定めている団体には、抗菌製品技術協議会（SIAA マーク）、繊維評価技術協議会（SEK マーク）、光触媒工業会（PIAJ マーク）があります。また、特殊な例としては、日本銅センターの CUSTAR マークがあります。前述した JIS Z 2801 規格の手順で試験を行った結果、試験品の菌数が対照の 1/100,000 以下になることを超抗菌の基準として超抗菌材料、超抗菌銅製品として認証するものです。

これらの評価試験の結果は、特定の試験菌や試験ウイルスに対する性能であり、実環境に存在する多様な細菌やウイルスに対して同じ性能を保証するものではありませんが、間接的に消費者に衛生意識を持たせる効果が期待できます。空調関連で活用されている代表的な抗菌剤には、ドレンパンのスライム、カビや菌の発生を抑制する抗菌剤があります。JADCA が担っている空調ダクトの清掃とあわせて、これらの抗菌製品が有効に活用されることを願っています。

一般財団法人 北里環境科学センター 参与
日本防菌防黴学会 会長　菊野理津子

事務局 etcetera（エトセトラ）

～内モンゴル視察旅行～

日本では 8 月末の猛暑の中、新潟のロータリークラブの奨学生としてお世話をしていたフチ君より、内モンゴルに帰らずにこのインバウンド景気の中で中国・台湾・東南アジアの人達を対象に東京で旅行会社を立ち上げた記念に、自分の故郷（内モンゴル）を案内したいと申し出があり、私と家内、JADCA 会員企業、株式会社アド・クリーン安藤会長、赤坂の肉料理店の松井会長と 4 人で、内モンゴルを漫遊してきました。

中国内モンゴル自治区は面積 118,300 ㎢（日本の 3 倍）、人口 2404 万人で、草原、砂漠、湖、森など壮大な自然風景のほか、チンギスカンとモンゴル帝国の豊かな遺産、遊牧民族の文化遺産がたくさんあります。

中国領ですので、北京から乗り換えて 1 時間でウランホト空港に到着しました。空港は草原の真ん中かと思っていましたが、片道 3 車線の公園のような道路、その両側には高層マンションビルが立ち並び、私のイメージしたモンゴルとは大きな相違を感じました。

翌日一晩だけ昔のゲル（パオ）の中で過ごしましたが、水洗トイレがあり、ゲルも隔世の感がありました。現在は夏場だけ牧童達が草原の中で羊や牛、馬を放牧管理するための仮小屋として使っているだけで、10 月～4 月までは市街地のマンションで家族と過ごすそうです。

阿爾山国家森林公園 4 日間の内モンゴルの滞在の中で特に壮大に感じたのは、昔の「モンゴル帝国の戦」を再現した騎馬戦です。男女の兵士の勇壮な戦の様子を見て、その迫力に感動しました。

最後の 2 日間には雄大な広野を見ました。牧草地で牛・羊がゆっくりと草を食み、その傍らで大型トラクターが冬に備えて牧草の刈り取り梱包をしていて、その国土の広大さに感服してきました。

食事は豚・羊の肉料理が主体の採食中心で私と安藤会長は最終日には食欲が減退してしまいましたが、牛や羊のミルクもおいしく、楽しい内モンゴル漫遊でした。

是非皆さんも内モンゴルの壮大な気分を味わってみてください。

written 小川明彦　（所属会社：株式会社アクス）

編集後記

JADCA 建築物環境セミナーが 8 月 27 日（水）に開催されました。本セミナーでは、東京消防庁火気電気係課長補佐の金野浩幸様より、令和 7 年 10 月 1 日より運用される東京消防庁の通知「火気器具上部に設置される排気ダクト等に係る技術基準とその具体的な対応」についてご説明いただきました。これからの季節は、空気が乾燥し、年末に向けて飲食店の繁忙期を迎えるにあたり、焼肉店での火災が頻発する傾向にございます。今回の通知により、火災が一件でも減少することを切に願っております。

今後とも JADCA の活動にご理解いただきご賛同を賜りますようお願い申し上げます。

JADCA 事務局

〒105-0004　東京都港区新橋 1-12-9 新橋プレイス 7 階
TEL　03-6274-6064　FAX　03-6274-6065
E-mail：info@jadca.jp　　URL：http://www.jadca.jp/